

令和4年度 行政評価 進捗管理シート

☆ 目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



■ 施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量/365日/人口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量/家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
648	610	—	630	—	—	市民環境部 市民衛生課
13.6	16.7	—	12.9	—	—	市民環境部 市民衛生課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
21	24	4	14	1100.0%	550.0%	市民環境部 市民衛生課
39	40	26	37	160.0%	114.3%	市民環境部 市民衛生課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業				【実績】 ・開庁時は市役所1階ロビーで配布する「ええもんクルっとコーナー」に加え、月に1回は南側駐車場にて「ええもんクルっとコーナー+（プラス）」を開催し、より多くの市民にリユースを身近に感じる機会を提供した。また、1月には、食器の回収及び配布を行う「ええもんクルっと市」を開催した。 【課題】 ・「ええもんクルっとコーナー」や「ええもんクルっと市」によって食器類の再利用は進んでいるが、市民から「自宅から出したものを引き取って欲しい」との相談は多く、回収の時期については検討が必要である。	A	90 80 85
②-1	不法投棄防止啓発事業	【実績】 ・監視カメラの記録管理及び監視パトロールを実施した。 【課題】 ・不法投棄の相談件数は昨年より減少傾向ではあるが、同現場で繰り返し行われているケースも多い。今後とも広報活動や監視パトロール等の啓発活動を継続し、不法投棄ができない環境を維持していくことが必要である。	A	90 85 85	現状維持 現状維持	不法投棄防止の啓発は、適正な廃棄物の処理に寄与するだけではなく、まちの景観維持にもつながることから、引き続き必要な事業である。この事業を推進することは、上位施策である「環境問題への取組み強化」の目標達成にも寄与するものであり、今年度行っている各事業に関しても、以下のとおりとなっているため、現状を維持していく。 ・監視カメラを設置した箇所では不法投棄が減少しており、効果があると考えられる。なお、不法投棄は放置するとますます増えていくので、定期的にカメラの記録を取り、場合によっては警察と連携して不法投棄の減少を進めていく。	市民環境部 市民衛生課
②-2	生活環境保全事業	【実績】 ・環境に関する情報については毎月の広報誌による周知に加え、市HPの改善により問題に触れてもらう機会を増加した。 【課題】 ・あき地の管理や野焼きについて、土地の所有者から周囲への配慮が不足しているトラブルになっている場合もあり、広報の方向性には検討が必要である。	A	95 85 85	現状維持 現状維持	生活環境保全は、市民生活に密接に関わる部分であるため、引き続き必要な事業である。この事業を推進することは、上位施策である「環境問題への取組み強化」の目標達成にも寄与するものであり、今年度行っている各事業に関しても、以下のとおりとなっているため、現状を維持していく。 ・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、毎月テーマを決めて掲載をしているが、記事に対する問い合わせもいただいでおり、一定の効果を与えている。 ・公害苦情やあき地の雑草に関する苦情については、随時受け付けており、対応として、関係者への声掛けや広報啓発等を行い、一定の効果を得ている。	市民環境部 市民衛生課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
ごみ減量・資源化を進めていくため、引き続き3R推進事業等について検討していく。	
ごみを適正に処理していただくため、不法投棄現場のパトロールを継続していく。	
市民・事業者が環境問題について意識を向けていただけるよう、引き続き広報にて情報を発信していく。	

担当課評価	
A	3 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	事業	縮小	事業
休止	事業	休止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

★ 目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。



■ 施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①-2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①-3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げなど適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の除却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R3)	今年度の進捗				担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)		目標達成度 (R6年度比)
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130	44	45	45	45	100.0%	102.3%	都市創造部 公園道路管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	街路美化推進事業					【実績】 ・市内の街路において、定期的な草刈・剪定を実施 【課題】 ・定期的な剪定等を実施できていない箇所の実施	A	95
①-2	都市公園維持管理補修事業	【実績】 ・市内の都市公園において、定期的な草刈・剪定 ・公園遊具の日常点検を実施して、適宜、補修を実施 【課題】 ・生育しすぎた樹木の強剪定や伐採 ・専門家による遊具の定期点検の実施	A	95	拡充	定期的な草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。 ・公園内の遊具点検については、職員により年2回実施しているが、加えて、今後は専門家による点検を実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
①-3	河川維持管理事業	【実績】 ・市管理河川・水路の草刈・土砂撤去 ・調整池土砂撤去工事 2箇所 【課題】 ・継続的な河川土砂撤去の実施 ・土砂撤去が未実施な調整池の早急な実施	A	95	拡充	定期的な土砂撤去や浚渫を実施はしているが、堆積が早いので、今後は回数を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
①-4	屋外広告物規制事業	【実績】 ・違反広告物簡易除却活動 令和4年9月(実施)・令和5年2月(実施予定) ・中和幹線沿道における屋外広告物適正化について、奈良県と協働で広告主に 対し行政指導実施。1件 ・中和幹線沿道における屋外広告物適正化について、香芝市にて広告主に対し 修景依頼文を送付。6件 【課題】 ・中和幹線の良好な景観形成に向けた、奈良県との協働。 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発	A	75	現状維持	【成果の方向性】 ・違反広告物の減少やコロナ禍につき、違反広告物追放推進団体の活動回数が減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少に向け、今後も協力体制は継続していく。 【コストの方向性】 ・違反広告物追放推進団体等への協力依頼を継続していく。	都市創造部 都市計画課	

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	4 事業	拡充	3 事業	拡大	3 事業
B	0 事業	現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・街路や公園において定期的な草刈り・剪定の未実施箇所における実施 ・公園遊具の日常点検に加え、専門家による詳細な定期点検の実施 ・調整池や市管理河川の土砂撤去未実施箇所における早急な実施 ・県と連携し、中和幹線の良好な景観形成に向けた施策に協働で取り組む ・違反広告物の簡易除却 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

★ 目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



■ 施策の主な取り組み

① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
空き家率	%	空き家数/住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2

前年度実績値(R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
-	-	-	-	-	-	都市創造部 都市計画課

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰もが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組まします。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数	1,576	1,576	1,576	1,576
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数	8,913	8,913	8,913	8,913
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865

前年度実績値(R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
34,677	36,576	21,176	41,887	114.5%	64.4%	生活安全部 生活安全課
41,117	42,412	22,752	44,658	105.3%	95.0%	生活安全部 生活安全課
1,576	1,196	-	1,290	-	-	生活安全部 生活安全課
8,913	6,695	-	6,904	-	-	生活安全部 生活安全課
1,549	1,477	-	-	-	-	生活安全部 生活安全課
618	606	-	-	-	-	生活安全部 生活安全課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	
①-1	空家等対策関係事業	【実績】 ・令和4年4月16日(土曜)「空き家セミナー&個別相談会」開催(3名参加) ・不良住宅認定及び除却工事に係る補助金執行:1件 ・利活用に係る改修工事 補助金執行:1件 【課題】 ・空き家に係る土地及び建物所有者等への適正管理に関する情報提供及び周知並びに除却等に係る経費の補助	A	87 80 82	【成果の方向性】 ・建物所有者等に対し適正な管理について周知を図り、管理不全の空き家が解消されるよう働きかける。 【コストの方向性】 ・空き家の除却に要する経費の一部について、引き続き補助を行っていく。また、国庫補助金を活用しながら広報誌に掲載したり、文書等による空き家に対する適正管理について啓発を行う。	都市創造部 都市計画課
②-1	地域公共交通事業	【実績】 ・令和5年1月からの香芝市コミュニティバス再編(ダイヤ・ルート等)に伴う関連事業を実施した(広域による住民周知・バス車両納車・ラッピング・停留所改修・緑石切下・路面標示改修)。 ・香芝市デマンド交通について、インターネット予約導入を検討(R5での導入・予算は現状維持で可。周知はタクシー車両に掲示等)した。 ・運行事業者と月1回以上、計12回協議を実施した。 ・協議会を5月30日(書面)、7月27日、1月30日(書面)、3月23日(書面)に開催した。 ・モビリティマネジメントとして、10月20日に真美ヶ丘東小学校で3年生を対象にバスの乗り方教室を、5月22日に市内在住の小学生とその保護者を対象に鉄道車庫見学を実施した。 ・出前講座や地域住民懇談会を開催しているが、バスのリニューアルに併せて市広報に特集ページに掲載し、またデザインや愛称の投票イベントなど、コミュニティバスの親和度及び認知度を高めるための取組を実施した。 ・燃油価格高騰対策として、路線バス、民間タクシー事業者へ燃料費上昇分の一部を支援金として交付した。 ・鉄道、路線バス、民間タクシー事業者にマスク・消毒液を配布した。 【課題】 ・コミュニティバスの運行データを分析・検討し、利用促進について、より具体的な検討が必要である。 ・コロナ禍が続く中、地域公共交通の維持・活性化に向けた対策を引き続き検討する必要がある。	A	82 72 74	・コミュニティバスおよびデマンド交通の両交通サービスを現状維持する。 ・コミュニティバス再編に伴う停留所改修等の利用環境整備費用の減少および残りの車両更新に伴う備品購入費等の増加を見込んでいる。 ・令和5年1月よりコミュニティバスの運行が大きく変わるため、利用実績の分析、利用促進および適切な状況対応が必要となる。 ・地域公共交通の利用者数は令和2年度から年々増加しつつあるが、回復の見通しは依然不透明である。 ・引き続きモビリティマネジメントを実施するとともに、国庫補助事業等を活用して交通事業者支援を検討する。	生活安全部 生活安全課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 管理不全の空き家所有者に対する、責務の周知及び管理サービスや市場流通の促進を図るための情報提供。 空き家の除却及び利活用に関する経費の一部補助事業 納税通知書を活用した建物所有者等への情報提供 コミュニティバスの実証運行を令和7年3月末まで予定しており、データ分析や運行利用促進に努める。 コロナ禍、及び新しい生活様式などにより、公共交通の疲弊度は大きく、地域公共交通を維持、確保するために、モビリティマネジメントを積極的に実施し、また事業者支援等について引き続き検討を要する。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

令和4年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

★目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m ²	都市公園面積/人口	5.1	5.5	6.8	7.9

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を計画的に整備します。	●
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	●
①-3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事業を推進します。	●

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
5.2	5.2	5.2	5.2	100.0%	94.5%	都市創造部 土木課

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数/特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	バリアフリー推進事業	香芝市バリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、バリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催などにより「心のバリアフリー」を推進します。	●
②-2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のバリアフリー化を推進します。	●
②-3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
38.9	52.8	41.6	47.0	89.0%	86.4%	都市創造部 都市計画課

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数	68	72	72	76

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
72	72	72	72	100.0%	100.0%	都市創造部 土木課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	成果の方向性		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業				【実績】 ・香芝市スポーツ公園の未測量箇所の用地測量を実施 ・プール施設の詳細設計を実施 ・プール区域の法面工事を実施 【課題】 ・引き続きプール区域の法面工事を行う ・令和5年度から令和7年度にかけてプール施設建設工事を行う予定だが、事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる	A		72 62 87
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所なし 【課題】 ・今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく	A	75 95 87	現状維持 現状維持	・市内全域の公園・緑地の配置や地元要望等をふまえた中で、新たな街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 ・次年度は設計・工事事業がないため、事業計画額としては縮小したが、将来の整備に向け国庫補助金を最大限に活用できるような事業を進める。	都市創造部 土木課	
①-3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・総合公園事業用地に係る地権者との取得に関する協議実施 【課題】 ・総合公園事業用地取得に向けた地権者との交渉	A	87 85 82	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・事業用地(民有地残1筆)について、地権者に対して粘り強く用地交渉を進める。また、公園区域等に関する都市計画変更手続きを進める。 【コストの方向性】 ・計画区域等の変更に伴う都市計画変更手続きや具体的な整備方針の検討を進めていく。	都市創造部 都市計画課	
②-1	バリアフリー推進事業	【実績】 ・令和4年11月2日(水曜)バリアフリー教室について、当初鎌田小学校で開催。ボランティアエスティバルにてパネル展示を実施。 ・JR香芝駅のバリアフリー化事業にかかる進捗状況の把握。 ・近鉄二上山駅のバリアフリー化事業が令和4年度中に完了予定。 【課題】 ・JR香芝駅バリアフリー化事業と共に市事業としてのJR香芝駅前公共用トイレ整備事業。	A	90 82 95	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・事業が予定通り実施されるよう、事業進捗をJRに適宜確認する。事業進捗のため、必要に応じて自治会と協議を行うとともに、住民に対し当該事業の広報・周知を行う。 【コストの方向性】 ・補助事業完了後は、速やかな事業完了報告書の提出を求めるとともに、補助金を交付する。また、補助金の交付決定については、国・奈良県と協同して実施する。	都市創造部 都市計画課	
②-2	歩道等バリアフリー化事業	【実績】 ・今年度は530mのバリアフリー化の実施 【課題】 ・真美ヶ丘幹線及び磯壁北今市線歩道のバリアフリー化工事を実施する。	A	80 95 95	現状維持 現状維持	今後も引き続き、香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置づけられた歩道のバリアフリー化の促進を図る。	都市創造部 公園道路管理課	
②-3	既存道路バリアフリー化事業	【実績】 ・国交付金の内示査定により事業未実施 【課題】 ・引き続き事業費の確保、用地取得に努める	A	95 55 95	現状維持 現状維持	・今年度は補助金の配分状況により実施できなかったが、次年度は用地取得を行う。 ・高齢者や障害者の視点に立ったきめ細かい事業計画により、連続性を補完する対策をすることで、コスト増大を防ぐ。	都市創造部 土木課	
③-1	駅周辺整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所なし 【課題】 ・新たな整備箇所について、調査・検討を行う	A	95 87 87	現状維持 現状維持	・未整備地区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検討していく。 ・次年度は設計・工事事業がないため事業計画額としては縮小したが、国庫補助金等を活用しながら限られた広場空間について、交通空間としての機能性を最大限向上できるような事業を進める。	都市創造部 土木課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事に着手する。	
引き続き国庫補助金を最大限に活用できるような事業を進める。	
総合公園事業用地取得に向けた地権者との交渉	
新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながらバリアフリー教室の開催	
JR香芝駅バリアフリー化事業の進捗状況を把握	
引き続き真美ヶ丘西通り線歩道のバリアフリー化(歩行空間の確保・視覚障がい者誘導用標示の設置)の実施	

担当課評価	
A	7 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	7 事業	現状維持	7 事業
縮小	事業	縮小	事業
休止	事業	休止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

★ 目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



■ 施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
27.3	27.3	27.3	27.3	100.0%	98.6%	都市創造部 土木課

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに補修を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

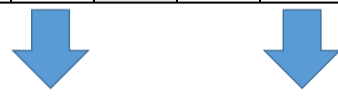
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4	8	12

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
6	6	6	10	166.7%	250.0%	都市創造部 土木課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	主要幹線道路整備事業						【実績】 ・畑分川線(1工区)の下部(P2橋脚、A1橋台杭)工事実施 ・尼寺関屋線及びスポーツ公園区域の地質調査及び法面設計業務を実施 【課題】 ・畑分川線(1工区)の下部(P1橋脚、A1橋台)及び現道改良工事に着手予定 ・関連事業(スポーツ公園)の進捗にあわせて整備する必要がある。事業の主要な財源となる国の交付金の配分状況により進捗に影響が生じる可能性がある。
②-1	道路維持管理補修事業	【実績】 ・香芝市舗装長寿命化計画における分類B,C路線L=約4.2kmの修繕工事を実施 【課題】 ・分類B,C路線において地下埋設占有業者の新設改築工事計画を綿密に協議し、修繕工事完了後における短期間、短区間の掘り返し発生防止	A	95 85 95	現状維持 現状維持	・香芝市舗装長寿命化計画における、分類B,Cである都市計画道路については、劣化度が高い路線の改築を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿命化を図る。	都市創造部 公園道路管理課
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	【実績】 ・4橋の修繕工事の実施と工事実施に向けて1橋の修繕設計業務を実施 ・29橋の橋梁定期点検を実施 【課題】 ・集約化が可能な橋梁を抽出するとともに、定期点検箇所数を削減するため、集約化に向けた検討の実施	A	90 95 95	現状維持 現状維持	今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検結果を基に要対策となった橋梁の修繕を実施する。	都市創造部 公園道路管理課
②-3	道路新設改良事業	【実績】 ・磯壁新設道路、及び畑(市道4-62号線)拡幅事業について工事実施 ・狐井(市道10-49号線)について交差点西側の用地(2件)取得完了、取得用地のうち一部の拡幅工事実施 【課題】 ・引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める ・狐井(市道10-49号線)拡幅事業については、交差点東側～初田川までの区間の支障物件について補償調査発注予定	A	100 74 95	現状維持 現状維持	複数の事業箇所における測量や設計を一体的に実施するなど、進捗管理を強化・徹底することにより、事業のスピードアップを実現する。 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める。 関連事業の進捗状況を見ながら調整して事業を進める。 道路維持管理については、継続して香芝市舗装長寿命化計画における分類B,C路線について、維持工事を実施する。 橋梁点検に関しては、5年サイクルで橋梁211橋・大型カルバート1箇所・横断歩道橋2橋の点検を行っていくとともに集約を検討し、管理橋の縮減を図る。また、健全判定がⅢの橋梁2橋の修繕工事を実施する。
---------	---

担当課評価	
A	4 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上水道の基盤強化

★ 目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靱な水道事業の運営が行われている。



■ 施策の主な取り組み

① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
14.6	14.6	14.6	14.6	100.0%	51.0%	上下水道部 工務課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
107	100以上	—	101.0	101.0%	101.0%	上下水道部 業務課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	水道施設更新事業	【実績】 ・配水管の更新事業(布設替8件と新設1件) ・工事で鉛製給水管を24戸更新。 【課題】 ・令和4年度においては、随伴工事の中止及び付近の工事を集約させたことにより工事件数が減少したが、今後耐用年数の到来する配水管の増加が見込まれる為、より一層効率的な更新工事に取り組む必要がある。	A	90 75 75	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 管路更新計画に基づき、年間4.7億円の投資額を目標としている。 【コストの方向性】 施設改良事業を可能な限り集約するなど効率化して工事費の削減を行う。	上下水道部 工務課
②-1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 ・令和5年2月1日に香芝市を含む26の関係地方公共団体において「水道事業等の統合に関する基本協定書」を締結し、同時に「奈良県広域水道企業団基本計画」を決定した。 ・電子決裁システムの運用等を通して、印刷物の削減及び業務フローの改善に努めた。 【課題】 ・本格化する県域水道一体化に係る事務と並行して、引き続き業務フローの効率化等に努めながら、住民サービスを低下させないように限られた人員で業務運営する必要がある。	A	90 72 80	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 本年度中の県域水道一体化に係る基本計画決定、基本協定締結に向けての検討と協議を推進する。 【コストの方向性】 電子化により印刷費用、紙代等を節約することで業務全体のコストダウンの一翼を担うとともに、業務フローの効率化を引き続き推進する。	上下水道部 業務課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・関係機関と工事範囲や工程の調整を行い、工事を集約する等で経費を削減し、無駄なく工事を履行させる。 ・業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めるとともに、経営基盤強化のため、県域水道一体化に係る検討を行う。特に令和5年度は、奈良県広域水道企業団設立準備協議会(法定協議会)が設置される予定のため、更なる協議・検討していく必要がある。
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	2 事業	拡充	事業	拡大	事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

★目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
76.3	78.0	76.0	77.7	99.6%	96.6%	上下水道部 下水道課

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)/下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95	96	97

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
90	91	90	90.5	99.5%	95.3%	上下水道部 下水道課

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値 (R3)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100	50	100	100.0%	100.0%	上下水道部 下水道課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	公共下水道管渠整備事業 ・穴虫・鎌田・五位堂・別所・上中・畑・狐井地内において下水道管渠約2.8kmの整備を実施する。				【実績】 ・予定していた地区において下水道整備を実施し下水道人口普及率を増加させたが、事業の遅れにより目標値に届いていない。 【課題】 ・穴虫・畑地区において整備が完了しておらず、事業の繰越しを予定している。	B		90 100 100
②-1	水洗化促進事業 ・公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、前年度の接続件数(465件)以上を目標に啓発を実施する。	【実績】 ・下水道の接続件数において、前年度と同等程度の成果となった。 【課題】 ・普及拡大を重点的に行っている中、水洗化率については横ばい状態である。	A	90 100 100	現状維持 現状維持 現状維持	・普及拡大することに伴い水洗化率のさらなる向上が、水質の改善、使用料の増加に寄与することから、普及促進員による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課	
③-1	下水道維持管理事業 ・流域下水道接続点等22箇所において、水質検査を実施する。	【実績】 ・法定水質基準が遵守できている。 【課題】 ・法定水質基準を満たしているが、一部水質の悪い(特定排水に係る水質使用料の区分に該当する数値)箇所がある。	A	90 80 85	現状維持 現状維持 現状維持	・接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努めていく。	上下水道部 下水道課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・要望地域や人口密集地域を中心に、各自治会と協議を交え機運の高さを確認して、整備促進を図っていく。 ・未接続世帯訪問時に行ったアンケートの調査結果等を分析し啓発の時期や地区を絞って啓発活動を行う。 ・水質の悪い箇所については、定期的に啓発を行っていく。
---------	--

担当課評価	
A	2 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業